

① 2022 年度の環境保全活動の実施状況・結果

関西エアポート神戸株式会社では環境負荷低減に向けて以下の4つの方針を設定しており、それぞれの方針のもとに取り組みの指標となる具体的な項目と目標、施策を定めています。2022年度の結果は以下のとおりとなっております。

	方針	項目・目標	実施状況・結果
1	気候変動への対応	エネルギー使用量 対2019年度比3%削減	対2019年度比約6%削減 ※1
2		CO2排出量 対2019年度3%削減	対2019年度約14%削減 ※1
3	資源循環	上水使用量 対2019年度比6%減	対2019年度比約10%減 ※1
4		廃棄物リサイクル率向上	リサイクル率は増加したが、 旅客増により発生量が増加した
5	周辺環境との共生	適切な環境監視	航空機騒音監視の実施
6		生物多様性に配慮した環境創造	空港内の緑化維持
7	環境マネジメント	環境認証の取得	ACA Level 4の維持
8		マネジメント体制の構築	KOBEエアポート環境推進 協議会の開催

※1：総量で比較しております。

※2：ACAはAirport Carbon Accreditationの略です。

気候変動への対応の取り組みとして、BEMS（Building Energy Management System）の導入、不要な照明の消灯、空調設定温度管理の徹底を実施した。

資源循環の取り組みとして、再生水・雨水利用の継続し、SAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空機燃料）の重要性周知・廃食油供給呼びかけを実施した。

周辺環境との共生の取り組みとして、航空機騒音の監視、ばい煙発生施設の適正管理、空港内の緑化維持を実施した。

環境マネジメントの取り組みとして、ACA（Airport Carbon Accreditation）Level 4を維持し、空港関連事業者と連携するためにKOBEエアポート環境推進協議会を開催した。